

新型コロナウイルス感染拡大が女性に及ぼす影響に関する
アンケート調査報告書【概要版】

令和2年11月
ぐんま男女共同参画センター

1 調査目的

現在、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、県民生活や社会経済活動に大きな影響が出ています。このような中で、とりわけ、女性は非正規就業者が多く、雇い止めなどの雇用不安や、育児・家事等の集中によるストレス、心身の不調、DV（ドメスティックバイオレンス）などが懸念されています。

そこで、群馬県の男女共同参画推進の拠点である「ぐんま男女共同参画センター」では、このコロナ禍が女性の就業や家庭生活、心身の状況にどのような影響を及ぼしているのか等についてアンケート調査を実施して、その実態やニーズを把握し、今後の施策展開に活用するため、本調査を実施しました。

2 調査対象・回答者数

県内に在住または通勤・通学している女性

回答者数：826人

3 調査方法

群馬県庁電子申請システムを利用したWEBアンケート

（群馬県のホームページに掲載するとともに、「ぐんま女性活躍大応援団登録団体」や「群馬県いきいきGカンパニー認証事業所」へ拡散を依頼）

4 調査期間

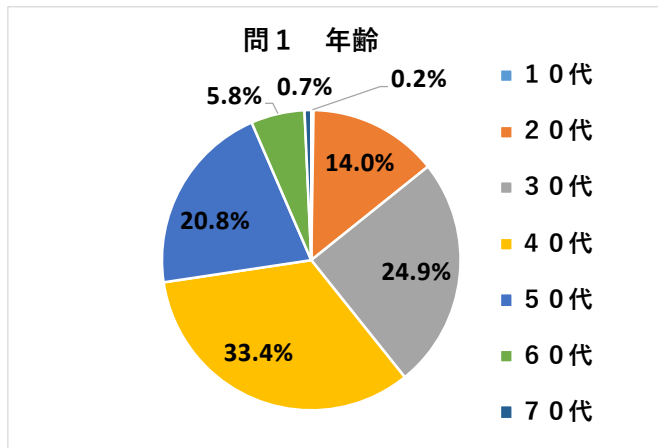
- ・ 令和2年9月25日（金）～10月9日（金）（2週間）

アンケート結果のまとめ

(1) 回答者の属性について

問1 年齢

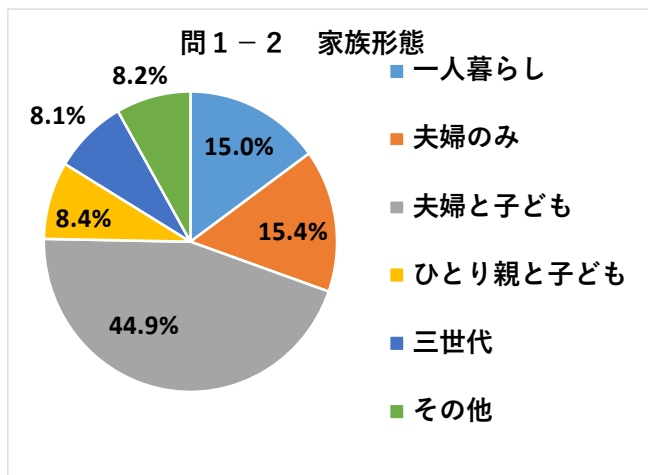
年代は、40代（33.4%）、30代（24.9%）、50代（20.8%）が最も多くなっています。



年齢	回答数(人)	(%)
10代	2	0.2%
20代	116	14.0%
30代	206	24.9%
40代	276	33.4%
50代	172	20.8%
60代	48	5.8%
70代	6	0.7%
回答数 計	826	100.0%

問1-2 家族形態

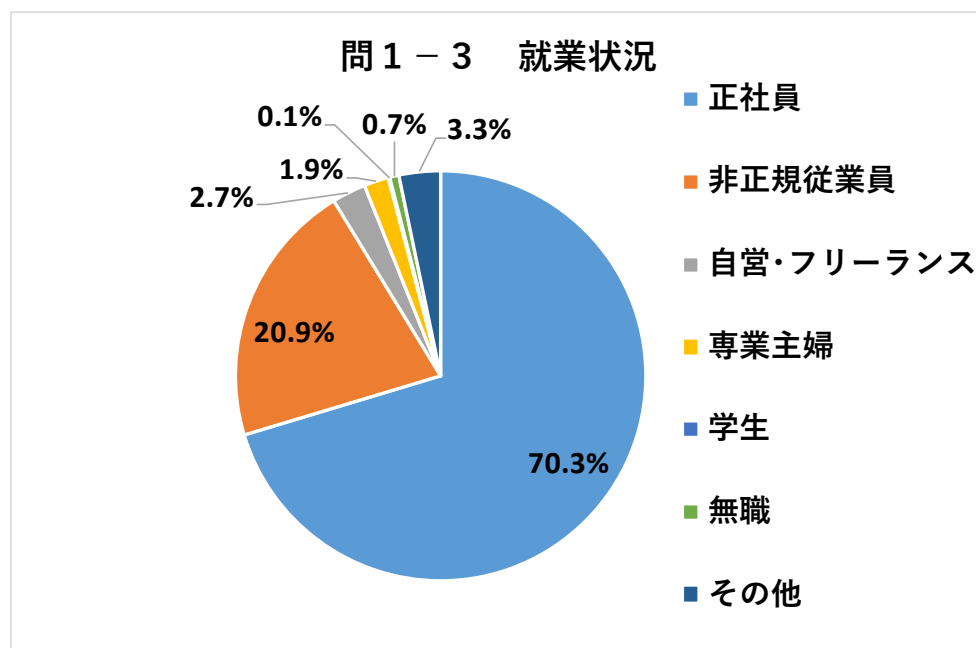
家族形態は、夫婦と子ども（44.9%）、夫婦のみ（15.4%）、一人暮らし（15.0%）となっています。



家族形態	回答数(人)	(%)
一人暮らし	124	15.0%
夫婦のみ	127	15.4%
夫婦と子ども	371	44.9%
ひとり親と子ども	69	8.4%
三世代	67	8.1%
その他	68	8.2%
回答数 計	826	100.0%

問1-3 就業状況

就業状況は、正社員（70.3%）、非正規従業員（20.9%）が最も多くなっています。



就業状況	回答数(人)	(%)
正社員	581	70.3%
非正規従業員	173	20.9%
自営・フリーランス	22	2.7%
専業主婦	16	1.9%
学生	1	0.1%
無職	6	0.7%
その他	27	3.3%
回答数 計	826	100.0%

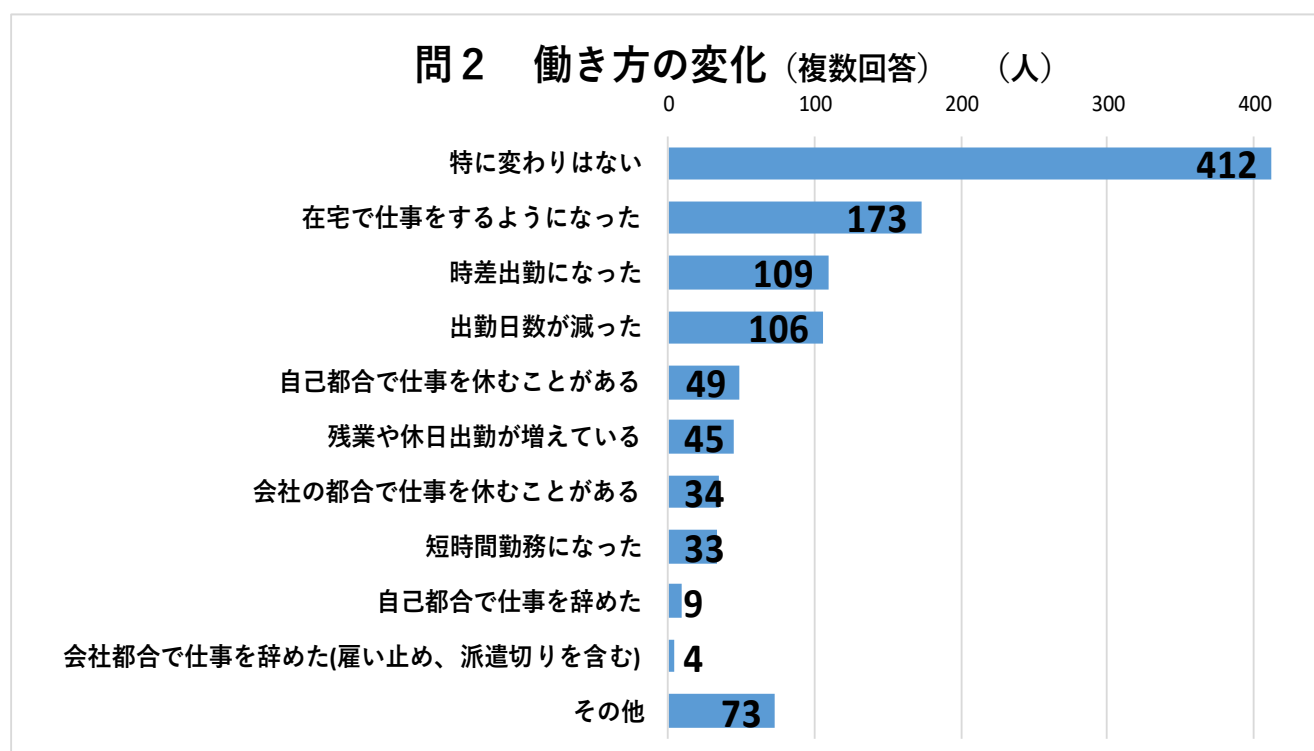
(2) 働き方の変化

問2 新型コロナウイルスの影響で、あなたの働き方は変わりましたか。

働き方については、特に変わりがない412人(49.9%)で、全体の約5割を占めています。働き方が変わった人は、在宅で仕事をするようになった173人(20.9%)、時差出勤になった109人(13.2%)、出勤日数が減った106人(12.8%)が多くなっています。

また、仕事を辞めた人は、自己都合、会社都合をあわせて13人(1.57%)でした。

(※以下、全ての記述項目については、一部抜粋)



働き方の変化 (複数回答)	回答数(人)	構成比 ※
特に変わりはない	412	49.9%
在宅で仕事をするようになった	173	20.9%
時差出勤になった	109	13.2%
出勤日数が減った	106	12.8%
自己都合で仕事を休むことがある	49	5.9%
残業や休日出勤が増えている	45	5.4%
会社の都合で仕事を休むことがある	34	4.1%
短時間勤務になった	33	4.0%
自己都合で仕事を辞めた	9	1.1%
会社都合で仕事を辞めた(雇い止め、派遣切りを含む)	4	0.5%
その他	73	8.8%
回答数 計	1,047	—

※構成比 = 回答数 ÷ 回答者数(826人)

○その他（具体的に）

- ・ 3月から全く仕事がない。
- ・ ZOOM会議が増え、出張が減った。
- ・ 再開の見込みがなく休業中。
- ・ 残業、休日出勤、出張がなくなった。

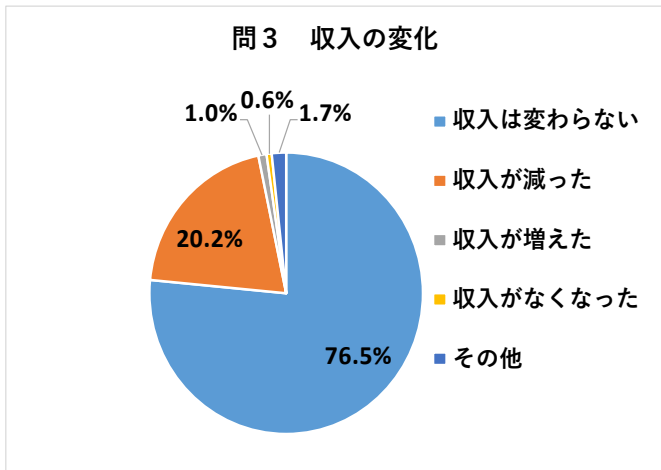
問2-2 その他：働くことについて自由に記載してください。

- ・ いつ切られるかわからない非正規雇用ではなく正規雇用で働きたい。
- ・ コロナ前は、今年8月頃、会社を辞め転職しようと思っていたが、コロナの影響で、会社を辞めるのも伸ばし、転職するのも伸ばすことにした。解雇や仕事がない人がいる中で、仕事があるだけ良いかと思うようになった。
- ・ 今の仕事内容、環境に不満はないが、非正規雇用ということで転職を視野に入れているが新型コロナウイルスによる不況の影響が非常に心配である。
- ・ 私は妊婦です。コロナはあれども会社は止まるわけにいかず、何もかわりません。コロナ禍における母性健康管理措置がもっと事業者、産婦人科医に周知されるようになってほしいです。
- ・ 就職氷河期世代の者です。非正規雇用から抜け出そうと、社内の登用試験を受けたり、正社員への転職活動等をして来ましたが、今のところ非正規から抜け出すことは出来ていません。年齢も年齢になってきましたし、コロナ禍で雇用状況も悪化しており、将来の見通しが余計に立たなくなっています。将来のことを考えると不安で不安で仕方ないです。
- ・ 女性は家庭、子供のことでコロナで大変です。仕事だけで悩んでいる男性とは違います。女性にあたるのは止めていただきたい。
- ・ 正社員で働いていましたが、コロナ（以前より成績不振）もあり解雇されました。コロナで解雇という言い分でしたが要は、産休・育休をとったので、その間に新しい従業員を入れてしまい、仕事が増えず、私のほうが切られたということが現状です。小さい子供がいるので一度切られてしまうとこれから正社員というのは非常に難しく、とても厳しく悔しいのが現状です。
- ・ 働くことは自己実現、社会との繋がりにおいて人生に欠かせないものであるため、コロナ禍で職を失った人は単に収入がなくなっただけではない喪失と考えられる。
- ・ 複数からの収入確保を考えるようになった。

(3) 収入・生活・行動の変化・心身等への影響

問3 新型コロナウイルス感染拡大で、あなたや家庭の収入は変わりましたか。

収入の変化は、収入が変わらないが76.5%と最も多くなっています。



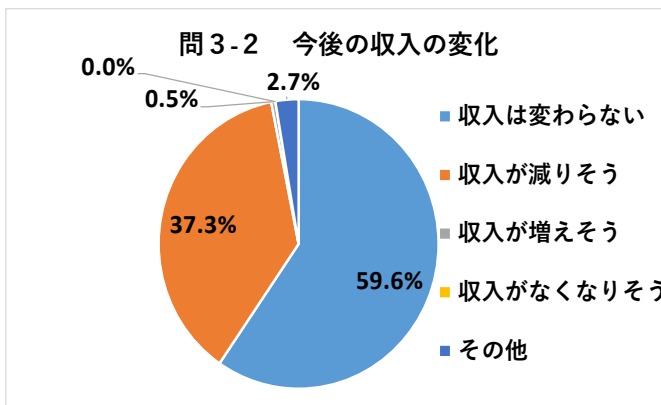
収入の変化	回答数(人)	(%)
収入は変わらない	632	76.5%
収入が減った	167	20.2%
収入が増えた	8	1.0%
収入がなくなった	5	0.6%
その他	14	1.7%
回答数 計	826	100.0%

○その他（具体的に）

- ・コロナ手当分だけ増えた。
- ・残業が無くなった為若干収入が減った。

問3-2 新型コロナウイルス感染拡大で、これから先、あなたや家庭の収入は変わりますか。

今後の収入の変化では、収入は変わらないが59.6%、収入が減りそうが37.3%です。



今後の収入の変化	回答数(人)	(%)
収入は変わらない	492	59.6%
収入が減りそう	308	37.3%
収入が増えそう	4	0.5%
収入がなくなりそう	0	0.0%
その他	22	2.7%
回答数 計	826	100.0%

○その他（具体的に）

- ・夏は賞与が出たが冬は分からない。
- ・給与は減らないが、冬以降の賞与額が見込めない。

問3-3 収入や経済状況についてご意見を自由に記載してください。

- ・コロナの影響で、夫の会社の業績不振になり、給与は3割カットになった。また、40歳以上の社員は、希望退職を募る、人員整理対象になっている。
- ・もっとお給料が安定した職に付きたいが、現実問題女性に優しい会社は少なく転職は厳しい。
- ・一人親家庭として今後の生活はとても心配です。
- ・5月に60代の父がコロナ禍の影響で勤め先から解雇された。その後、ハローワークで職を探しても採用されないという現実がある。父は、心身が疲れ、体調を崩しやすくなってしまった。

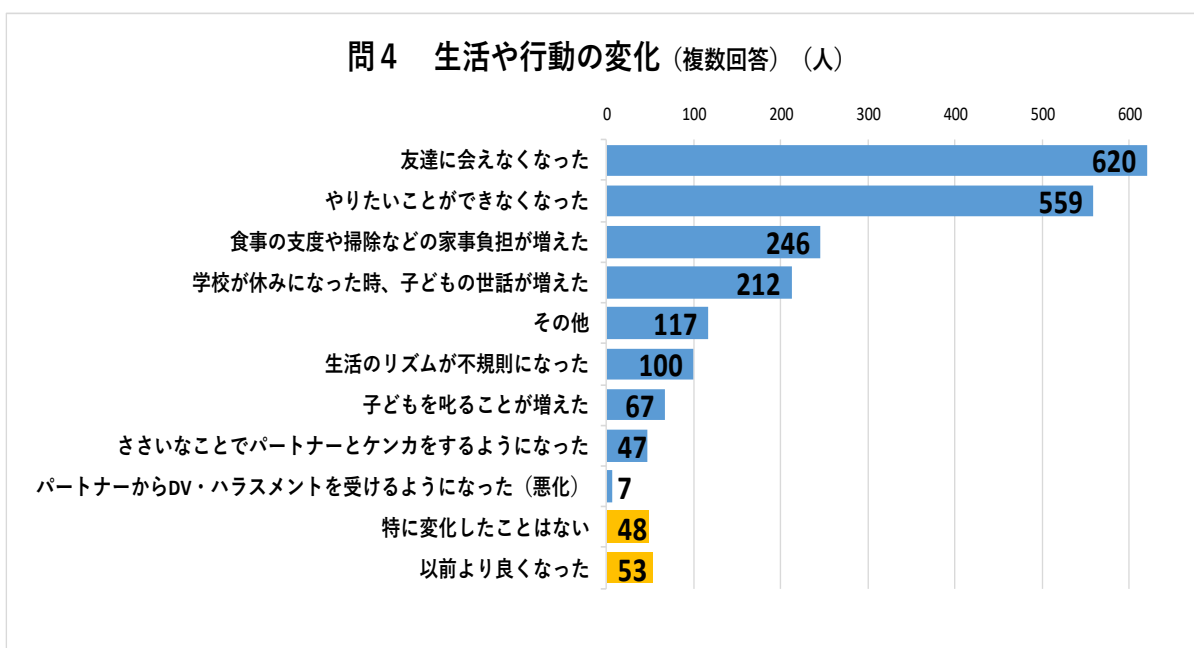
- ・自分も母も非正規雇用なので、この先いつ首を切られるか、毎日不安です。
- ・主人の収入がへり、(15万以上)私も、減っているので毎月貯金を切り崩しています。
- ・就職氷河期世代です。四大卒ですが、フリーターをして暮らしてきました。子供が生まれ、子育てをしながらの仕事がなかなかうまくできないです。そもそも正社員になりたいのになれません。新型コロナ以前からの問題です。新型コロナの影響でこの先益々転職、正社員雇用の道が狭まり、この先の人生が不安でたまらないです。
- ・世帯主が2か月仕事が休みになり、休業補償は6割しか出ず、収入が3分の1になった。その後も残業、休日出勤、夜勤がなくなりとても生活できず、夫婦の定額給付金を使っても赤字が続いている。
- ・旦那の会社ではリストラ、賞与カット、給料カットがあった。
- ・任期付きで働いているため、任期が切れる頃にコロナの影響で求人が減っていた場合、次の仕事に就けるか不安がある。
- ・年内は雇用契約が続くが次の更新は無いかもしれない、そして次が見つかるのかという不安。

問4 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。

(複数回答可)

生活や行動の変化では、友達に会えなくなった(75.1%)、やりたいことができなくなった(67.7%)が、最も多く、食事の支度や掃除などの家事負担が増えた(29.8%)、学校が休みになった時、子どもの世話が増えた(25.7%)が次いで多くなっています。

また、パートナーとの関係では、ささいなことでパートナーとケンカするようになった47人(5.7%)、パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった(悪化した)は7人(0.8%)でした。



生活や行動の変化（複数回答）	回答数(人)	構成比 ※
友達に会えなくなった	620	75.1%
やりたいことができなくなった	559	67.7%
食事の支度や掃除などの家事負担が増えた	246	29.8%
学校が休みになった時、子どもの世話が増えた	212	25.7%
その他	117	14.2%
生活のリズムが不規則になった	100	12.1%
子どもを叱ることが増えた	67	8.1%
ささいなことでパートナーとケンカをするようになった	47	5.7%
パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった（悪化）	7	0.8%
特に変化したことはない	48	5.8%
以前より良くなった	53	6.4%
回答数 計	2,076	—

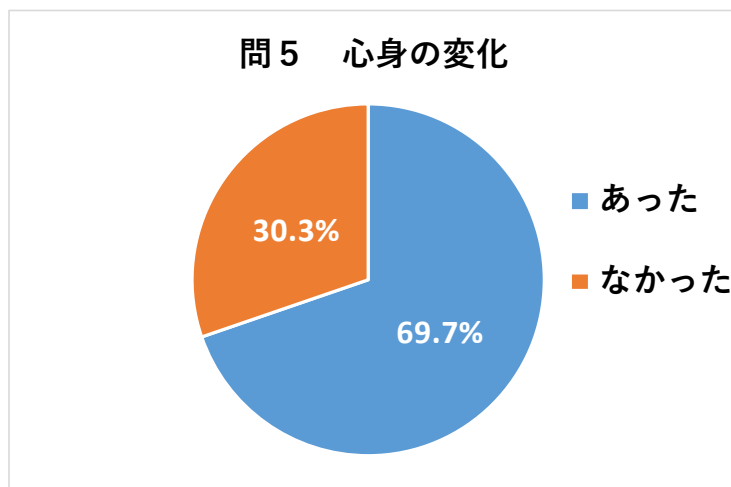
※構成比＝回答数÷回答者数(826人)

問4-2 生活や行動の変化について自由に記載してください。

- ・外出の自粛が続くため、家族以外の人と話すことが減り、気分転換が難しい。
- ・外に出かけることができないので、家庭内で問題が発生した時に、逃げられる場所がない。息抜きができなくて心身ともに消耗する。
- ・休校・登園自粛になってしまったため、仕事を休まなければならない、家事育児が増大するなど、あらゆる面で女性に負担が大きくなってしまっていたと思う。
- ・行きたい所、やりたいことが出来なくなり家族全員ストレスが徐々にたまり、ケンカが多くなった。
- ・子どもの事を考えコロナ移住したが、群馬県は子育て環境が整っていて住みやすい。感染対策もしっかりしていて安心して連れて行ける公園や遊び場が多い。子どもは外で遊べてグズリが減った。
- ・自宅に居る時間が増えたので生活全般が丁寧になった。社会貢献活動やボランティアの機会が減少し、生きる張り合いも減少した。
- ・家族皆で家においても家事をするのは私一人で、そういったことにもストレスを感じる。
- ・上司のストレスから叱責されることが増えた。
- ・妊娠しており、コロナがなければ上の子と夫の立ち合いのもと出産できるはずだったが、夫のみしか立ち会えなくなり、子供をみる人がいないため立ち合いを諦めた。
- ・夫が一日中居て何かするわけでもなくストレス、高齢の家族が近くに居てうつしたらと思うとこわくて子供達を外に連れていけない。買い物や公園にも行ってない。

問5 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたの心身に変化がありましたか。

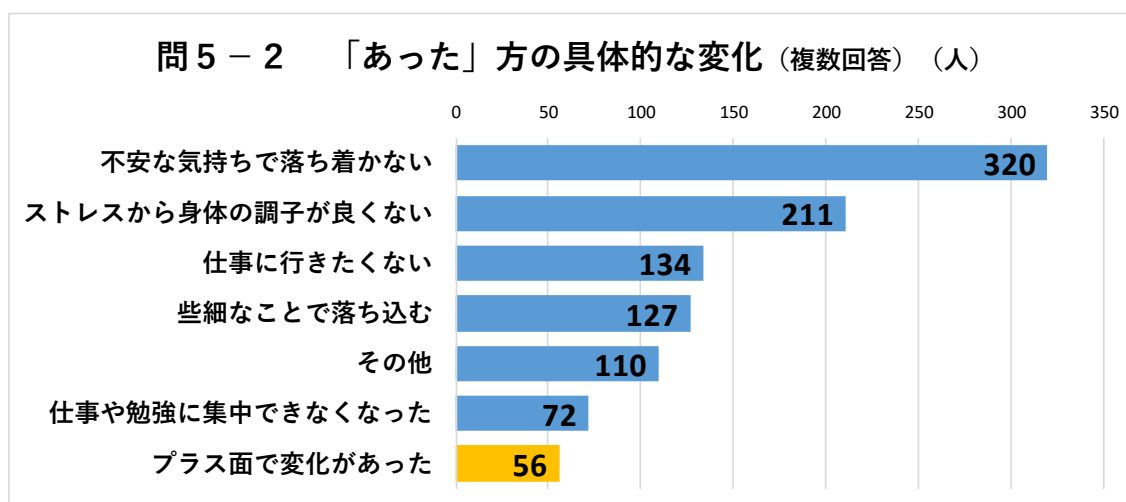
心身の変化については、約7割の方があったと回答しています。



生活や行動の変化（複数回答）	回答数(人)	(%)
あった	576	69.7%
なかった	250	30.3%
回答数 計	826	100.0%

問5-2 「あった」方の具体的な変化について

具体的な変化については、不安な気持ちで落ち着かない（55.6%）、ストレスから身体の調子が良くない（36.6%）が最も多く、次いで仕事に行きたくない（23.3%）、些細なことで落ち込む（22.0%）となっています。また、56人がプラス面で変化があったと回答しています。



「あった」方の具体的な変化（複数回答）	回答数(人)	構成比 ※
不安な気持ちで落ち着かない	320	55.6%
ストレスから身体の調子が良くない	211	36.6%
仕事に行きたくない	134	23.3%
些細なことで落ち込む	127	22.0%
その他	110	19.1%
仕事や勉強に集中できなくなった	72	12.5%
プラス面で変化があった	56	9.7%
回答数 計	1,030	—

※構成比＝回答数÷回答者数(576人)

○その他（具体的に）

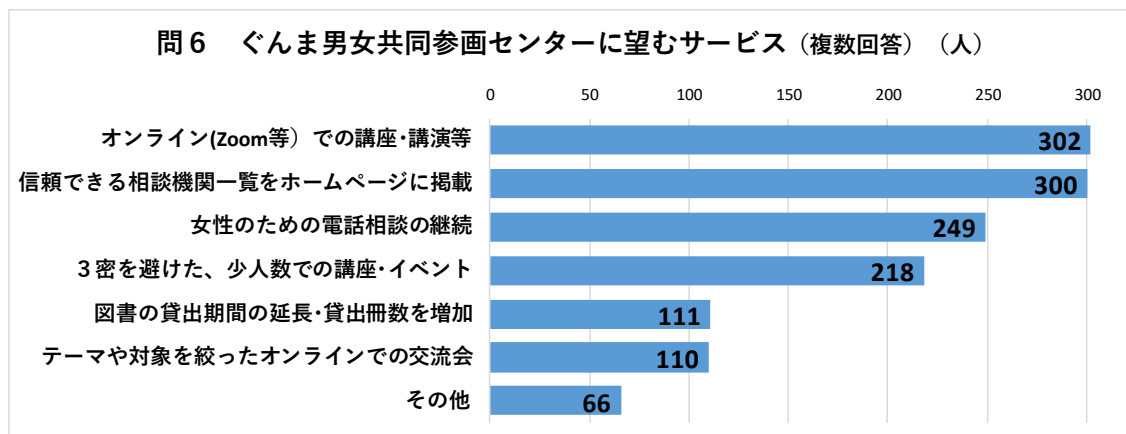
- ・PCの使用頻度が多く、眼精疲労・肩こり等が悪化した。
- ・身体症状に敏感になった。死を身近に感じるようになった。
- ・息苦しさや頭痛。
- ・体力、気力が戻らない。
- ・運動不足、飲酒の量が増えた。何も楽しいことがない。何をするのも面倒。
- ・急性胃腸炎、抜け毛など、ストレスによる体の不調が増えた。
- ・パニック障害を発症した。
- ・胃潰瘍になりかけた。

問5-3 これらの心身の変化に対して何か対策をしていますか。

- ・過剰に不安をあおるテレビやニュースを避ける。
- ・運動や音楽を楽しむ等、全く関係ないことに集中して取り組むことで気持ちを上げるようにする。
- ・アプリを使って家でできる筋トレやストレッチをする。
- ・コロナ以外の事に興味を向けるようにして家族の会話もなるべくコロナ以外の事を言うようにした。
- ・ジョギングや散歩を習慣にし、自然の中で体を動かすことを心がけています。
- ・なるべくいつも通りの生活リズムで過ごすようにしている。
- ・近場での散策、戸外に出て自然に親しむ。
- ・子供を虐待しない為に、数分でも1人になる。
- ・私以上に不安を抱える方が多いのではないかと想像し近所付き合いを一層緊密にするよう心がけた。
- ・自律神経失調症になってしまったので心療内科に通っている。
- ・受診して抗うつ薬の処方をしてもらった。
- ・夫に話を聞いてもらっている。話を聞いてもらえる相手がいないと辛い。

(4) ぐんま男女共同参画センターに望むサービス

問6 今般のコロナ禍のなかで、ぐんま男女共同参画センターにどのようなサービスを望みますか。センターに望むサービスは、「オンライン(Zoom等)での講座・講演等」(36.6%)、「信頼できる相談機関一覧をホームページに掲載」(36.3%)、次いで「女性のための電話相談の継続」(30.1%)となっています。



センターに望むサービス (複数回答)	回答数(人)	構成比※
オンライン(Zoom等)での講座・講演等	302	36.6%
信頼できる相談機関一覧をホームページに掲載	300	36.3%
女性のための電話相談の継続	249	30.1%
3密を避けた、少人数での講座・イベント	218	26.4%
図書の貸出期間の延長・貸出冊数を増加	111	13.4%
テーマや対象を絞ったオンラインでの交流会	110	13.3%
その他	66	8.0%
回答数 計	1,356	—

※構成比 = 回答数 ÷ 回答者数(826人)

○その他 (具体的に)

- ・ラインなどの SNS での情報提供
- ・企業への啓発活動
- ・講座やイベント参加は時間が無く難しいので、冊子などで情報を発信してほしい
- ・オンラインでの本の利用。電子書籍での閲覧
- ・電話だけでなく、LINE やチャット等で相談できるものがあればいい。
- ・ピアサポート的なボランティア事業

問6-2 どのようなテーマや内容の講座、講演、事業を望みますか。

- ・SDGs
- ・アンガーマネージメント
- ・アンコンシャスバイアスへの気づきが、男女平等などの一助となる可能性があると考え。男女共同参画という、どうも女性の課題と考えられる傾向があるように感じている。また、男女だけではなく多様性への対応も視野に入れて考える必要性を内外にアピールしてもらいたい。
- ・これからの男女参画の在り方等について、身近な人たちと気楽に話せるようなジェンダー講座
- ・コロナ禍での仕事の続け方、転職、就職について
- ・プログラミングや Web 制作、パソコンスキル講座
- ・女性の生き方を支える仕組みや情報、仲間づくりの場、女性のための相談の場
- ・高齢男性が多い職場等への意識改革的なプログラムや、女性の地位向上
- ・DV防止や働き方改革、生活の工夫、メンタルのケアなど。
- ・在宅での副業講座、在宅で出来る資格取得講座
- ・職場が女性活躍推進が全く進んでいないので、女性活躍推進に関するものを希望する。
- ・男性を対象とした、コロナ渦だからこそその家事、育児の大変さ、重要さをテーマとした講座
- ・独身女性限定でおひとり様の将来設計（キャリアや経済的なこと）みたいなテーマで交流会

(5) コロナ禍での困りごと・行政への要望について

問7 コロナ禍で、あなたやあなたのまわりにおいて困りごとがありましたら教えてください。

困りごと御意見合計 273件

(コロナの不安について) 70件

主な意見

- ・いつ自分や家族が感染するか(当事者になるか)漠然とした不安がある。
- ・ネガティブなニュースや、攻撃的な行動をする人が増え、気持ちが沈みやすい。
- ・ひとり親な為自分が感染してしまった場合の生活費や子供の世話等に不安がある。
- ・施設やエレベーターの利用における人数制限を守らない人がいると、イライラする。
- ・自分以外の家族が家庭に感染を持ち込まないかいつも監視しなければならない。
- ・神経質になりすぎて気を使いすぎてストレス爆発。外出、外食、旅行なんでもつてのほか。自粛生活し続けておかしくなりそう。
- ・気をつけていても感染してしまう場合があると思うが、感染が許されないかのようで、大変なストレスを感じている。
- ・職場内でマスク着用しない人や、ソーシャルディスタンスを守れない人、他人のものを使用した後

に消毒するなどの気遣いが出来ない人へのストレス。

- ・心身の不調で思うように働けない、子どもは以前よりのびのび遊べなくなった、コロナを気にする、コロナにかかったらと思うと不安、出掛けることが悪い感じになっている。
- ・新型コロナを過剰に恐れる人や、周囲との交流が減ったことに耐えられない人の話につきあうのが大変だった。
- ・妊婦や産後間もない女性と赤ちゃんを守るための仕組みを充実させてほしい。見えないウイルスから誰も助けてくれない中で赤ちゃんを守るためにこの人たちは必死です。

(ストレスに関すること) 51件

主な意見

- ・何をすることも行動が問われる。感染対策をしているが、感染してしまったら、と思うと何もできなくなる。ストレス発散ができなくて心身共に元気ではない。
- ・街全体で、経済が回っていない気がする、感染したらという恐怖からストレスがたまる、行動が制限され出来ないことが増え、イライラする事が増えた、ストレスから体調を崩しやすくなった。
- ・核家族化が当たり前の現代に休校、登園自粛がどんなに親に負担があるかが身に染みた。サポートは必要と思う。
- ・周りの女性は、職場・友人ともに心身の不調がとても多いです。今まで精神不調になったことがない女性が、初めてメンタル不調に陥り抜け出せない様子を多々目にします。
- ・以前に比べて少しのことで怒ったり、拗ねたりするようになったと思います。私も少しのことで怒ってしまうことが多々あります。

(就労・雇用に関すること) 50件

主な意見

- ・コロナ禍で、会社都合で退職された方や、パート日数が少なくなっている人の話をよく聞く。
- ・コロナ前に仕事を退職し就職期間中にコロナが流行したため、なかなか就職先が見つからなかった。
- ・会社全体の業績不振。倒産するのではないかと不安になる。
- ・現在は雇調金を支給して頂いてるので、倒産等の心配はしていないが、この先の事業が、以前と同様にならない心配がある。
- ・学校が休校になった際に、学童クラブで預かってくれないとなると、親の仕事が相当制限される。普段女性にも働くことを奨励しているのに、こういう状況になると途端に実質的に働くことを制限するような風潮になる。
- ・日々業務の中で、感染対策としての消毒が負担に感じる。社内ではほぼ女性社員のみが行っているのが現状で、感染対策として10時と12時と3時のお茶を取りやめたところ、役員から叱責されてしまった。

- ・周りからは仕事を失った、仕事が半分に減った、子供がいるので仕事に行けないなどと聞いている。
- ・地方独特なのか、子どもが休校になっても男性が仕事を休めない空気があり、女性が仕事をしながら在宅で育児もしなければならない。もっと男性が会社を休める空気を作ってほしい。妻がメンタル不調に陥れば、夫も大変になる。
- ・旦那の収入が減ったため、私がパートから正社員への話が出たが、子供がまだ未満児のため、どうしたらよいか悩んでいる。子供、二人目を考えているが、経済面や不妊治療等、なかなか踏み切れない。
- ・夫が就職しないと不安が大きい。私の職場もいつまであるかわからないので今後が不安で眠れない日もあって、体調も不良になる。

(収入・経済状況に関すること) 36件

主な意見

- ・パートで働いているが、しばらくは出勤しなくていいと言われ、収入の道が絶たれたため、生活が今までよりも苦しくなった。そのためのストレスで体が不調であるが、医者にも行けない。
- ・飲食店を経営している。感染予防対策をして営業しているが、客足は戻らず毎月、赤字。持続化給付金で赤字を補てんして営業しているが、給付金が無くなったら閉店しなければいけません。
- ・家族の会社の経営状況が悪化し、早期退職することになった。今後、収入が減り、不安。
- ・収入は変わらないが、母子家庭で休校中は学童費に加え毎日のお弁当作り等あり、普段以上に出費があった。国からの母子家庭を対象とする給付金もあったが、収入は変わっていないために受け取れずだった。児童扶養手当自体もギリギリ貰えないラインの収入なため、コロナでカツカツだった。
- ・世帯ごとに給付される特別定額給付金の10万円が受け取れなかった。私と子供の分。夫が申請をしたようだが、家庭内別居で経済的なDVを受けている状態な為、夫に請求しても貰えていない。DV被害者への措置として妻が自分の受取分の申請を手続きできることになり期待していたが、条件に該当していなかった為、手続き出来なかった。
- ・夫のボーナス、インセンティブが一切なくなり、収入減。

(家庭生活に関すること) 27件

主な意見

- ・コロナで自宅待機が増えたので、親と接する時間が増えて些細な言い争いが増えて、家庭内で休まる時がない。
- ・コロナ禍により夫の仕事の負担が増え、それが原因の一端となり夫がうつ病を発症してしまった。子供の世話や家事を分担できなくなり、身体的精神的に疲弊していた。
- ・初めての出産後、交流の場が無く子育ての心配がある。
- ・妊娠中もあらゆるイベントが中止になってなにも知らない状態で子育てが始まった。これから出産

する人も沢山不安があると思う。

(身体に関すること) 11件

主な意見

- ・風邪をひいたとき、病院にかかって良いのかわからなくて困ります。これから秋冬と寒くなり、風邪やインフルエンザが流行してきます。子供たちは毎年月一以上風邪をひきます。
- ・イライラしたり不安になったりすることが増えて頭痛などがおこるようになった。群馬県の検査数があまりに少ないため不安。
- ・疲労とストレスが原因で带状疱疹を発症した。

(誹謗・中傷に関すること) 11件

主な意見

- ・もしかかってしまった場合の犯人捜しのようなことはどうにかならないものかと思う。
- ・もっと感染者を責めない風潮ができればいいと思う。県からも発信は行なっていると思うが、もっと県民一人一人に届くような発信を引き続きお願いしたい。
- ・感染はどれにでも起こり得る事、誹謗中傷が起こらないよう、啓発していただけたら、と思う。
- ・現に周辺で感染者への誹謗中傷を何度も耳にしているので、万が一自分や家族、同僚が感染したときの風評被害が心配。
- ・コロナという病気の症状の辛さよりも、周りからのバッシングやいじめなど、その方が怖い。現在の状況を改善してほしい。

(その他) 17件

主な意見

- ・仕事で産婦人科勤務をしているが、若年妊娠が増加していると思われる。自粛や登校が出来なかったりと自宅にいる時間が増えたからと思われる。
- ・団体の活動がほとんど出来ずにいる。帰属意識の低下が懸念される。会費を徴収している手前、何らかの形で会員に還元しなければ退会者の増加など会の存続が危ぶまれる。
- ・地域のゴミ拾いを中止したため、道などにゴミが多く落ちている。ゴミが増えたことが気になる。

問7-2 問7の困りごとに対して、行政に対応してほしいことはありますか。

行政への御要望合計138件

(各種助成金・手当・経済支援に関すること) 28件

主な意見

- ・コロナで収入が減った人、会社員やパートにも助成金がほしい。
- ・子どもの手当は小さい子ばかりでなく、高校生や大学生にも拡大してほしい。小学生や中学生よりも色々なことにお金がかかる。
- ・介護等を抱えている世帯への経済的な支援。基本給に加えてのベーシックインカム等の暮らしへの支援。
- ・収入が減少したら税金の免除等の対策をしてほしい。
- ・妊婦に対して手厚いなかかがほしい。金銭面とか。ただでさえ不安な思いを抱えながら妊娠生活を送り、診察の付き添いは禁止され、立ち会い出産も諦めなきゃいけないのだから。
- ・年寄だけ、子供のいる人だけ、という片寄った優遇はやめて欲しい。恩恵を受けずに、税金だけとられる方の身になってください。
- ・ひとり親家庭に対して厳しい部分も多い。児童扶養手当を貰える収入のラインが低いように感じている。パートじゃ育てていけないので正社員で頑張っているのに。今後改善してもらいたい。

(子育て・学校に関すること) 18件

主な意見

- ・3密を避け、健康状態の保証があった上での学童保育や預かりがあると助かる。ファミリーサポートも利用できるのはありがたいが、金銭的な負担も生じることであり、生活収入が厳しい家庭にも補助が行き渡るようにしてほしい。
- ・小学校等でのリモート講義の充実も図ってほしい。インターネット環境の整備は重要だと考えるし、先生のオンライン講義のスキルを上げる対策を検討してほしい。
- ・小さい子供が出かけられるような場所をもっと作ってほしい。コロナも対策をすれば使用制限もそれほど必要ない場合もあるので、あまり厳格に使用制限をしすぎないようにしてほしい。
- ・子育てに関しては、イベントの中止でなかなか情報が入ってこないなので、積極的に情報発信してほしい。
- ・修学旅行等、学校行事が減り子供たちの楽しみがなくなってしまったので、何か代案があると学校生活の思い出が残ると思うので前向きに検討してほしい。
- ・保育所、幼稚園、学童などへの一時的な増員
- ・子供の教育支援（動画配信だけでは、子どもはやる気になりません…。）、いろいろな団体がいろいろな支援をしているが、それらをまとめたサイトがあると良いと思う。

(就労・雇用に関すること) 16件

主な意見

- ・企業への在宅勤務のさらなる奨励。そして子持ちの女性がもっと正社員で働けるようにしてほしい。
- ・コロナ禍により給与の減少や失業が起きると思われるが、県民の雇用や給与が確保されるような施策をとってもらいたい。
- ・ハローワークや職業訓練では、介護や看護師などの資格取得を推しているが、訓練や就業支援を受けられる職種は正直きつい仕事ばかり。今回の新型コロナの影響で在宅勤務を経験し、自分の理想の働き方であると思った。IT知識を有した人材が求められているので、そういったIT資格取得支援や就業支援があると良いと思う。
- ・リモートワークの推進を図ってほしいし、それに対する助成を行ってほしい、例えばインターネット環境の整備など。
- ・行政で率先してリモートワークを取り入れ民間に広めてほしい。県で誘致して都心のテレワーク企業のサテライトオフィスを館内に増やしてほしい。雇用も地元枠を作ってもらえたら増えるし、リモートワークが一般市民に身近に感じられる環境になるといいと思う。
- ・非正規職員の正規職員登用等で、長期間受験勉強が必要な試験を課すのを再考して欲しい。シングルマザーや小さい子供を抱えた方は、満足な受験勉強時間が確保出来ない方も多いので、別の選考方法を考えて欲しい。
- ・病児保育や保育園の看護師在籍など、充実させてほしい。
- ・不妊治療中も休暇を取りやすい環境を作してほしい。
- ・母健カードでの休業などをもっと周知徹底して欲しい。
- ・雇用調整助成金に審査をもっと緩くして小規模の事業所でも簡単に申請を出せるようにして欲しい。

(医療・PCR検査等に関すること) 12件

主な意見

- ・病院勤務の医療関係者のPCR検査を含めて感染対策の義務化、医療物品の充実。施設内設備の充実、例えば、面会室の増設、マスク、アルコール消毒、ノロウイルス、インフルエンザ対策など。
- ・PCR検査や抗原検査をもっと安くどこでもいつでも受けられるようにしてほしい。
- ・東京のようにもっと検査を簡単に受けられるようにしてください。また、高齢者本人だけでなく、高齢者と同居している人のインフルエンザワクチン接種や、PCR検査を優遇してほしい。
- ・妊産婦のPCR検査を優先的に実施してほしい。またその家族に対しても検査できるようにしてほしい。検査するタイミングや回数は専門家の判断で、必要かつ効率的に提案してほしい。検査は公費で行ってほしい。
- ・病院での診察認定や施設が決まるまで一時保護してほしい。

(感染者やコロナに関する情報の開示に関すること) 12件

主な意見

- ・コロナの発生状況等の情報を、もう少し開示してほしい。コロナ対策がされているところが分かるようにしてほしい。
- ・どういった環境や行動、場所でより感染しやすいか、逆にどういった環境や行動、場所なら感染しにくいのか、すでに伝えられている事はありますが、新たな調査により具体的にわかってきた事があれば随時教えて欲しい。
- ・常に最新のエビデンスのある情報を提供してほしい。分かりやすく、繰り返し、たくさんの人に伝えてほしい。
- ・新規感染者の数はともかく、重症者の数などもきちんと素早く伝えて頂けると助かる。情報が少なすぎてどのように生活すれば良いのかよくわからない。「医療は逼迫していない」と報道されるが、元々医療は暇ではなく、特に急性期病院は人数が余ってはいなかったところに新たな感染症への対応が必要となった。即ち、逼迫しているのである。ベッド数だけの問題ではない。
- ・不安を煽ることなく正しい知識を提供してほしい。

(コロナの不安に関すること) 10件

主な意見

- ・細かく相談を受け入れてほしいと思う。継続して。これから先が本当に困ってくるのではないかと予測される。犯罪も増えるかもしれない。DVも増えるかもしれない。子供たちにしわ寄せが行くと考えると恐ろしい。自殺も。力を合わせて助け合うことが大切だ。
- ・子育て中や高齢者などナーバスになっている方多いと思うので、そういった方のサポートを手厚く行ってほしい。
- ・精神的なケアが必要と考えている。最低でも、年に1度のストレスチェックの実施を、中小企業も含めて周知いただきたい。また、その補助や産業医の紹介など、具体的な援助もお願いしたい。ストレスチェックは、年1度だが、できればすぐにでも精神的なケアについては行うようにしてください。
- ・精神的なサポートをしてくれる場所（病院とは別に）またそのような場所で相談に乗ってくれる方がいるということを周知してほしい。自分が辛い時に、他人を傷つけないように生きる方法を提案してほしい。
- ・不安な気持ちになったときになんでも話を聞いてもらえるホットラインの周知。

(誹謗・中傷に関すること) 3件

主な意見

- ・感染者の個人情報の保護、誹謗中傷への対策

- ・自分も子供もいつなってしまうか不安。かかってしまった時に、職場にも子供の学校にも迷惑をかけることが、恐怖である。気を付けていてもかかってしまうわけだから、偏見やいじめなどが無いように啓発活動を行ってほしい。
- ・実際に医療従事者が受けた差別、偏見をしっかりと把握して、偏見をなくせるよう呼びかけ続けてほしい。

(その他) 39件

主な意見

- ・このようなアンケートはとても意味があると思う。たくさんのサンプルが取れるとエビデンスが得られ、信ぴょう性も上がると思う。
- ・外国籍の人の対応。感染が止まらない。差別したくはないが、このまま増え続ければ日本人との深い溝が出来かねない。きちんと対策している外国の方もたくさんいる。彼らがバッシングを受けないようにするためにも早急に厳しく対処してほしい。
- ・行政が率先して、困りごとのなんでも相談できる窓口を作ってほしい。行政だけでできないことは、地域の団体や企業と一緒にやってとりくんでほしい。
- ・今まで以上に子どもやシングルマザー、一人暮らしのお年寄りへのサポートをして欲しい。
- ・自分のスキルや時間を誰か他の人のために役立つボランティア活動やシェアリング・エコノミーを行政が推進してくれると良いと思う。たとえば、趣味で音楽をやっている人たちが病院や介護施設で3密を避けた音楽ボランティアの活動ができるようにするための需要と共有のマッチングシステムの提供、等。